

開館 30 周年記念事業『図書館伊万里塾（第 4 回）』 朗読はたのしい！心も体も目覚める魔法

市民図書館で『図書館伊万里塾』の 4 回目が行われました。講師は、元 NHK アナウンサーの山田敦子さんと、山田さんは講演のなかで、朗読をする際のポイントや、大切に心がけていることなどを話したり、最後には芥川龍之介の『蜘蛛の糸』を朗読したりしました。参加者は、メモを取りながら熱心に聴講したほか、細かい情景が浮かび上がるような朗読にすっかり魅了されていました。



↑「朗読は、地声を好きになり、すべての力を抜いて、話しかけるような気持ちで取り組んでみて」と話した山田さん

株式会社奈雅井が軽自動車を寄贈 利用者急増の高齢者移動支援に白羽の矢

港湾運送業などを営む株式会社奈雅井が、市に軽自動車 1 台を寄付しました。これは、同社が、市内の移動サービスに役立ててもらいたいと寄付したもので、贈られたダイハツタントは『山代町元気なまちづくり運営協議会』に貸し出され、介護予防事業への送迎や高齢者の移動支援などを行っている『べんりカーやましろ号』の 2 台目として活躍中です。べんりカーは利用者が増えていて、1 台では足りない状況でした。



↑ 感謝状を手に写真に納まる(株)奈雅井の今泉清美代表取締役社長（右から 2 人目）と協議会の皆さん、深浦市長

消防協力者感謝状贈呈 夫婦の的確な判断や行動が守った尊い生命

伊万里消防署で、消防長から消防協力者に感謝状が贈られました。受賞したのは、古川俊雄さん、古川順子さんと、2 人は、8 月 18 日、牛舎で作業をしていたときに、微かに聞こえる唸り声を確認し、声の聞こえる方を探索したところ、川に転落していた男性を発見しました。即座に 119 番通報し、また、救急隊に引き継ぐまでの間、継続的に声を掛けたり、けがの程度や身体の状態を確認したりしました。



↑ 救急隊と救助隊の現場への誘導も行った古川俊雄さん（右）と順子さん

鍋島藩窯 秋祭り 開窯 350 周年を迎えた特別な秋祭り

大川内山で、鍋島藩窯秋祭りが行われました。今年は、例年開催している伝統行事に加え、鍋島焼の開窯 350 周年を記念したシンポジウムや、記念小皿・ぐい呑みの販売、町歩きツアー、飲食店の出店など多彩な企画が催されました。また、伊万里・有田焼伝統産業会館では、大阪・関西万博で佐賀県ブースとして出展したものと同じ『献上の歩み展』が公開され、観光客などでにぎわっていました。



↑ 過去に献上された貴重な鍋島焼がずらりと並ぶ圧巻の展示に、観光客は足を止め、伝統の技をじっくりと眺めていました